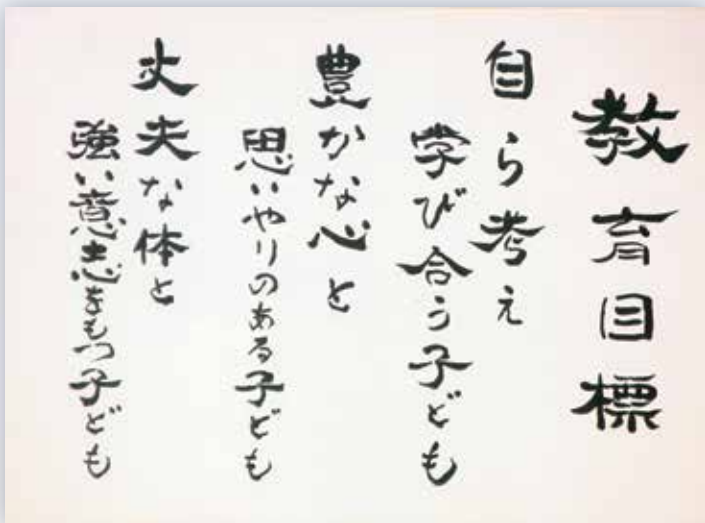


ありがとう、

阿歴内小中学校

阿歴内の地域と共に歴史を刻んできた阿歴内小中学校が、
3月31日をもって99年の歴史に幕を閉じました。
4月から中茶安別小中学校、塘路小中学校での新たな学校生活が始まります。



校舎の歴史



昭和36年頃 阿歴内中学校



昭和10年頃 阿歴内尋常小学校

学校のあゆみ

- | | | |
|----|----|---------------------------------------|
| 大正 | 6 | 塘路尋常小学校所属阿歴内特別教授場が開校 |
| 昭和 | 10 | 高等科の併置認可を受け阿歴内尋常小学校になる |
| | 22 | 学制改革により標茶町立阿歴内小学校になる 標茶町立阿歴内中学校が開校 |
| | 41 | 小学校創立50周年記念式が挙行 |
| | 50 | 阿歴内第三小学校を吸収統合 |
| | 52 | 北片無去小学校と合併統合 中学校開校30周年記念式典が挙行 |
| | 60 | 小中併置校により阿歴内小中学校になる |
| | 61 | 校歌・校章が制定 |
| | 62 | 小学校開校70周年、中学校開校40周年記念式典が挙行 |
| 平成 | 7 | 阿歴内第二小学校と合併統合 |
| | 12 | 新校舎改築落成記念式典が挙行 |
| | 27 | 閉校式・閉校を惜しむ会を開催 |



平成12年 現在の校舎が完成



昭和60年 阿歴内小中学校

阿歴内小中学校

校歌

石原行徳作詞
佐藤昌之作曲

一、川の流も清らかに
緑豊かな阿歴内
花咲く丘の学舎に
いとよみ明るく智をみかく
希望は育し我が母校

二、山並み遠く風薫る
森美しき阿歴内
光あふれる学舎に
よみな健やかに伸びていく
雄々しく立ちろ我が母校

三、まじい自然をのりこえろ
父祖が拓いた阿歴内
恵みの丘の学舎に
もつちもろ我々の心意気
誓いし固く我が母校

昭和六十一年三月二十四日



校章



- ・原生林にたくましく生きる「かしわ」に、児童・生徒の生きる姿を表現
 - ・「阿」の文字を中心に、小中学校の発展を表現
 - ・3本のペンは児童・生徒・先生の学習意欲を表現
 - ・阿歴内地域住民の「和」を輪で表現
- 考案者 坂上 義明氏
昭和61年3月24日制定



競歩遠足



運動会



入学式

1年間の思い出



閉校式 閉校を惜しむ会

昨年の11月28日に阿歴内小中学校閉校式・閉校を惜しむ会が行われ、全校児童・生徒や卒業生、地域の住民ら約350人が集まり、学舎に別れを告げました。閉校式では参加者全員で校歌を斉唱し、三本雅一教育委員長による閉校宣言、歴代校長・PTA会長へ感謝状の贈呈などが行われました。同式で柳田裕之校長は「98年間の歴史をたどると本校は地域の教育力が高く、学校と保護者、地域の方々の強い連携で試練を乗り越えながら、さまざまな実践の成果を上げてきました。また、教育活動だけではなく、運動や文化の中心

として学校が地域の交流する場として大きな役割を担ってきました。学校が地域から無くなってしまふ事はとても寂しいですが、子どもたちは4月から新しい学校生活が始まります。これからも子どもたちが心豊かに育っていくことを願っています」と話されました。

また、在校生を代表して小野寺愛香さん(中学2年)は「自分の通っている学校が無くなるという話を聞いた時は、とても衝撃を受けました。阿歴内中学校を卒業できないのだと思うと残念な気持ちが消えませんでした。運動会や文化祭など全ての行事に最後までという言葉が付いてしまいました。運動会は毎年楽しい行事でしたが、最後の運動会は楽しい気持ちの中に寂しさを感じ

ました。阿歴内小中学校での残り少ない日々を大切に過ごそうと思っていました。あつという間に時間が過ぎてしまいました。4月から私たちは、中茶安別小中学校と塘路小中学校に分かれて学校生活を送りますが、早く環境に慣れ、前向きに頑張っていきたいと思います。学校は閉校しても、私たちが阿歴内の子どもであることに変わりはありません」と話されました。

閉校式の後は閉校を惜しむ会が開かれ、在校生・教職員によるバンド演奏などのアクションが行われました。また、参加者たちは久しぶりに再会する同級生たちと思い出を語り合いました。



閉校への思いを語る小野寺さん



惜しむ会でバンド演奏を披露



思い出の品に当時に思い出す山崎さん

15年前の タイムカプセルを開封

閉校式が行われた同日、校舎の改築を記念して平成12年に埋められたタイムカプセルの開封が行われ、卒業生や当時の教職員ら約30人が集まりました。

タイムカプセルの中には、似顔絵や書道、写真、未来の自分に宛てた手紙などが当時の状態のまま保存されており、卒業生たちは思い出の品と対面し、当時に懐かしんでいました。

小学6年生の時にタイムカプセルを埋め、現在は釧路市で助産師として勤めている山崎有也美さんは、自分に宛てた手紙の中に書かれた「将来は看護師になりたい」との一文を見つけ、笑みを浮かべていました。



卒業式



文化祭



小学校自由研究発表会